

平成30年度地区新人総体 大会運営規定

I. 全体の運営に関すること

- (1) 1日目は個人戦1回戦を行った後、団体戦(代表の部・1年生の部)を行います。
(個人戦のみに出場する離島校の試合は行いません。)
- (2) 監督会は両日行います。
- (3) 割当練習(朝)と公式練習について
 - ①割当練習(朝)は事前に連絡された時間とコートで行って下さい。
 - ②団体戦において全試合開始前に各チーム3分間行えます。 ※若番から先に行います。
 - ③個人戦では設けません。すぐに試合を始めて下さい。
- (9) 本部への質問・要望は監督及び中体連登録コーチが行えますが、抗議は出来ません。

II. 試合に関すること

1. 試合全般

- (1) 団体戦の代表の部は全試合正式ゲーム、1年生の部は15点2ゲーム先取とします。
個人戦はベスト8決めまで15点2ゲーム先取、それ以降は正式ゲームで行います。
※ただし、進行状況により決勝まで15点2ゲームに変更する場合があります。
- (2) インターバルは、以下の通りになります。
 - ①各ゲーム中にどちらかのサイドのスコアが11点になった時→60秒以内
 - ②1ゲームと2ゲームの間と2ゲームと3ゲームの間→120秒以内
 - ③15点ゲームの場合はゲーム間の120秒以内
- (3) 試合中の汗拭き・水分補給は、原則としてインターバル時のみ認めます。
ただし、スクイズボトルを使用してください。
- (4) 監督・コーチのアドバイスはインプレイでない時に行えます。インプレイ中の応援はベンチ、応援団とも認めません。
- (5) ゼッケンのないものや、競技にふさわしくない行為及び服装などのものは失格とします。
- (6) コール後3分以内に試合ができる準備をしてコートに入らないと失格とします。
- (7) 試合前のコートでの練習は原則として行えない。
- (8) 競技服装は、日本バドミントン協会審査合格品を原則とする。ハーフパンツでも良いが、膝にかからない長さとする。
- (9) ソックスは必ず着用すること。くるぶしが隠れるものを履くこと。
ソックスは、白または白を基調としたものが望ましい。
- (10) ゼッケンは布地とし、上着の背面中央部に右図のような規格で学校名、姓を黒または濃紺色の楷書で明記すること。ゼッケンの無い者は没収試合とすることもある。※4点止めすること。
(縦、横ともに15cm～20cm程度の大きさ↑)

○○○中 姓

- (11) はちまき、ヘアバンド、リストバンド、サポーター、テーピング 認める
(派手でないもの)が、ブレスレット・ネックレス等の装飾品(スポーツ用品等も含む)及び、マスコット等を身につけてのプレーは認めない。
- (12) 競技にふさわしくない身なり(まゆ等)・服装及び、行為をしたものは、協議の上没収試合とすることもある。
- (13) 上下アンダーシャツを見せないようにすること
- (14) 選手がチェンジエンドする際、監督(コーチ・マネージャー)はベンチを移動する。
- (15) ベンチは組み合わせの上側(若番)のチームが主審から見て右側に入る。

- (16) 試合のある選手以外でフロアーに入れるのは原則として、監督（引率者）、コーチまたはマネージャーとする。
- (17) 試合中のルールに関する質問・要望は監督及び中体連登録コーチが行えますが、抗議は出来ません。主審で判断出来ない場合は、本部へ連絡する。

2. 団体戦

- (1) 試合は全試合トーナメントで行います。
- (2) どちらかが初戦の場合は、試合が決した場合でも最後まで行います。その場合第2ダブルスは、双方が認める場合のみオーダーと違う選手を出してもかまいません。
(結果は2-0とする)。それ以降は、勝敗が決した場合第2ダブルスは行いません。
シングルスと第2ダブルスを平行試合している場合、シングルスまたは、第2ダブルスで試合が決した場合は一方が途中であっても試合を終了します。
- (3) 審判は敗者審判になっています。初戦のみシード校で審判します。
- (4) 審判は主審、線審とします。得点係は対戦校同士で行います。
- (5) オーダーは随時遅れないように提出をお願いします。
- (6) 団体戦において試合が連続する場合は、原則として10分程度あけます。
- (7) 試合中にオーダーミス（オーダーと違う選手がでているなど）があった場合は以下のように対処します。
 - ① オーダーと違った選手が出場している場合は、その種目を失格にします。
 - ② 登録選手以外が出場している場合は、没収試合としてそのチームの負けにします。

3. 個人戦に関すること

- (1) 試合はトーナメントで行います。
- (2) 個人戦の審判は敗者審判とします。初戦のみシード選手で審判を行います。
- (3) 個人戦の敗者審判は主審のみとします。線審と得点係は対戦校同士で行います。
- (4) 個人戦において試合が連続する場合は、原則として15分程度あける。

Ⅲ. その他（注意事項）

- (1) 体育館シューズで外に出ないこと。
- (2) 昼食時間は設けないので、各自試合の進行をみながら取ること。
- (3) ゴミは必ず持ち帰ること。ゴミ袋も各学校で準備して下さい。
- (4) 応援席での飲み物、食べ物の片付けを徹底すること。最後に顧問の先生で、ゴミの持ち帰り、控え場所等の清掃の確認をされてください。
- (5) 貴重品やラケットなどのバドミントン用品、靴の管理は各学校及び、各自で徹底する。
- (6) 体育館以外の施設（校舎等）には、絶対に入らないこと。
- (7) フロアでの応援は禁止とします。応援はギャラリーで行うこと。

Ⅳ. 選手の変更について

申込後、選手の変更がある場合は以下の通りで選手変更を行う。

- (1) 団体戦の代表の部は登録選手を変更できる。但し、初日の監督会までに変更届を提出すること。
- (2) 個人戦シングルスにおいて、登録選手が病気・怪我等で試合が行えない場合は棄権とする
- (3) 個人戦ダブルスにおいて、ペアの一人が病気・怪我等で試合が行えない場合は、監督会で確認してオブザーバー参加できる。
- (4) 上記のいずれにしても、初日の監督会で申し出る。それ以外では変更は認めない。